



お岩  
いわた  
まつ  
にし  
西松

入団から今日まで約30年以上消防団員として活躍されてみえました。長年、消防団の誇りと社会奉仕を生活の

多なる労力と時間を費やした調査結果報告書を基に、関係者の処分を行いました。長年にわたり、ラッパ隊のみならず消防団

環境は、近年大きく変遷し、消防団員の確保が非常に困難となっています。

質問

## 消防団の処分に関して

### 調査委員会の結果を基に判断しました

町長

質問

消防団ラッパ隊の出動費用を水増し請求、使途不明金があつて関係者の処分が行われました。

私は以下の点で違和感を持ちました。

- ① 消防団組織の中身を十分に調査検証し、処分するのが通常ではないでしょうか。
- ② 消防団OBへの支払いの規定や監査がありませんでした。これは

規定の不備です。

③ 使途不明金の計算は仮定の数字で、この数字により使途不明金が変わり、場合によっては使途不明金はなく、逆に団員が負担したこともあり得ます。

④ 不適切であつて違法が証明されないことで懲戒免職処分はおかしいのでは。

少子高齢化の今、私どもの町も超高齢化地域です。地域の協力があつて、地域の維持が可能です。消防団は、ボランティアです。互助の組織です。活動しやすい規則基準を明確にすべきです。

処分を受けた団員は、

一部にしてみえました。処分には納得いく理由と納得いく基準が必要だと思ひます。

回答

消防団ラッパ隊の不適切処理等は、多大なるご迷惑とご心配をおかけし、改めてまして深くお詫び申し上げます。

この件は、事件の重大性を鑑み、全容を解明すべく調査委員会を発足し、調査を行つていただきました。

調査委員会の委員には、公正・中立性、専門性を保つため、5人の見識ある方々に委嘱し、町職員を動員し、

現役ラッパ隊員及びラッパ隊OBに聞き取りを行いました。

この歴史ある消防団を取り巻く環境は、近年大きく変遷し、消防団員の確保が非常に困難となっています。

を熱心に、献身的に支え、導いていただいた実績は、何一つ否定するものでもなく、敬意を表するものです。

消防団員は、本業を持ちながらも郷土愛護の精神に基づき、火災その他の自然災害などから町民の生命、身体及び財産を守り、地域住民との連携を強め防火防災意識の普及・指導に活躍をしていただく姿勢は、

昨年「消防団のあり方検討委員会」を立ち上げ、消防団が担うべき役割、広く町民に知ってもらう方策や安全・安心の中核としての団員の配置など検討していただいています。新たな消防団が伝統を守り、さらなる町民生活の安全・安心が一層向上していくことを期待しています。



地域防災の担い手の消防団